

にじいろ通信



令和7年12月25日 第9号 札幌市立認定こども園にじいろ

にじいろホームページは [認定こども園にじいろ](#) で検索してください

今年も発表会を無事に開催することができました。参加した子どもたちは緊張しながらも、これまで楽しんできた取組をキラキラとした表情で発表する姿が見られていました。

さて、園庭には一気に雪が積もり、季節もすっかり秋から冬へと変わりました。朝からもふもふの新雪で遊ぶ子どもたちのはしゃぐ声が聞かれています。また、ホールにはらいおん組がつくってくれたオーナメントが飾られたクリスマスツリーが登場しました。先日行われたクリスマス会では、各クラスのかわいい発表やサンタさんとのやりとりなどが見られ、楽しいクリスマス会となりました。

2025年も残すところ1週間ですね。今年も保護者のみなさまの温かいご理解とご協力に、心より感謝を申し上げます。3学期も子どもたちの成長を保護者のみなさまと喜び合いながら、成長を支えてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

保育教育主任 石神 朋美

1月の行事予定

毎週金曜日は全クラス対象【絵本貸出日】になっています

1日(火)～3日(土)	年始のため休園	21日(水)	役員会
13日(火)	幼稚園入園説明会	22日(木)	食育「給食室の仕事①」(5歳児)
15日(木)	はじまりの式	23日(金)	食育「給食室の仕事②」(5歳児)
17日(土)	避難訓練	26日(月)	誕生会
19日(月)	盛付隊(食育の日)		

★ 1月プレイデー ★

(10:00～)

きりん組 19日(月)、20日(火)

ぱんだ組 22日(木)、23日(金)

らいおん組 27日(火)、28日(水)

(16:00～)

らっこ組 14日(水)、16日(金)

うさぎ組 15日(木)、16日(金)

こあら組 19日(月)、20日(火)

《災害時のお知らせについて》

12月12日(金)の日中に避難する地震がありました。お子様の状況が心配だったご家庭も多かったのではないかと思います。

今後は札幌市清田区で震度3以上の地震が発生した際には、コドモンにて園児の安否状況などを配信することにいたしましたのでご確認をお願いいたします。なお、園児の安全確保を最優先し、避難後園児および職員の安全が確認され、園舎の状況確認後の配信となりますのでご了承ください。また避難中は電話に出られない場合もあります。よろしくお願いいたします。



アンケートのご協力ありがとうございました



先日実施しました「にじいろの教育・保育へのアンケート」では、たくさんの保護者の方にご回答いただきました。にじいろの教育・保育を振り返り、改善につなげるための資料として使わせていただきます。ご協力いただきありがとうございました。結果は後日お知らせいたします。

日々の様子 ～室内遊び～

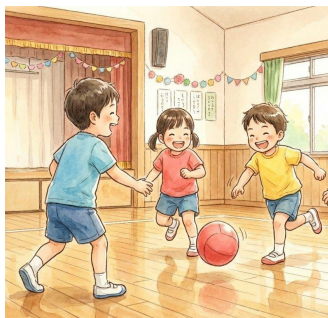
乳児クラス

園庭は雪が積もったり溶けたりと戸外遊びができない日もありますが、園庭から持ってきた雪をトレーに入れると、冷たそうにしながらも繰り返し触ってふわふわの感触を楽しんだり、握ると固まる様子を不思議そうに見たりして、冬の訪れを感じているらっこ組の子どもたちです。うさぎ組はスノーコンビに自ら足を通そうとしたり「手袋手伝って」と保育者に伝えるなど、雪遊びへのやる気に満ち溢れた様子です。園庭では雪の上を歩くだけでにこにこ楽しそうにしており、これからダイナミックに遊べるようになるのが益々楽しみです。

またホールや広いスペースで追いかけて、ストップゲーム、ダンスをするなどして運動でも体をたくさん動かしてのびのびと遊んでいます。



幼児クラス



夏頃から4、5歳児クラスが一緒になって楽しんでいるドッジボール。初めは各クラス少人数で行っていましたが、繰り返しゲームをする中で「人数がたくさんいたほうが楽しい！」ということに気付いてきたようです。今では自分たちで友達を誘って集い、人数が足りなければチームの分け方を相談するなど、子どもたち自身で遊びを進める姿が見られるようになりました。また、外野と内野に分かれてゲームをする中で「1度当たっても相手にボールを当てれば復活できる」という経験ができたことで、負けても途中で諦めない気持ちが育っていると感じています。

2、3歳児は初めの頃は応援することを楽しんでいましたが、今では転がしドッジボールのときには一緒にゲームに参加しています。ルールが分かり年上のお友達に憧れてボールを転がしたり当たったことを喜んだりする姿が見られ、異年齢の友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを感じています。



性教育への取組



にじいろでは毎月、職員が「乳幼児期における性教育」「子どもの人権」について考える園内研修を行っています。日々の保育の中で大切にしたい関わりや子どもたちへの伝え方などの意見を出し合い、共通認識のもと、保育を行っています。今回は乳児クラスとぱんだ組の取組をご紹介します。

うさぎ・らっこ組

保育者が排泄の補助をする機会がとても多い乳児クラス。オムツ交換はパーテーションを使用して周りの目が気にならない場所で行い、「スポン脱ごうね」「オムツ下げるよ」などの声掛けをして子どもの意思を確認しながら進めています。

またトイレトレーニング期間は少人数でトイレへ誘うなどして、一人一人が安心して排泄できるよう、ゆったりと関わるようにしています。0.1歳の子どもにとっても排泄はとてもプライベートなものということを再確認し、今後も子どもの気持ちに寄り添った関わりを意識していきます。

ぱんだ組

イラストカードを使用して、生活の中で意識してほしいことを伝えています。例えば「裸の子ども」と「水着を着ている子ども」の2枚を見比べて「裸はお風呂に入るときにの格好だよ。水着で隠れているところは大事だね。」と話してから着替え時に気を付けたいことを知らせるなど、視覚的に子どもたちがイメージしやすいよう工夫しています。

他にも日替わりで「トイレを覗く」「かんちょーをする」「お友達に抱きつく」などの絵を見せて「これは楽しいかな？どう思うかな？」と話す時間も設けています。自分が楽しくても相手は「恥ずかしい」「いやなときもある」という気持ちを知る機会となり、友達との関わり方を考える様子が伺えます。

上記の取組以外にも各年齢に合わせた関わりや伝え方を職員間で考えながら、子どもの心身を守る保育を行えるようにしています。今後も他のクラスの活動についてお知らせしていきたいと思います。



12月のご意見、ご要望はありませんでした。
何かございましたら、いつでもお声掛けください。

